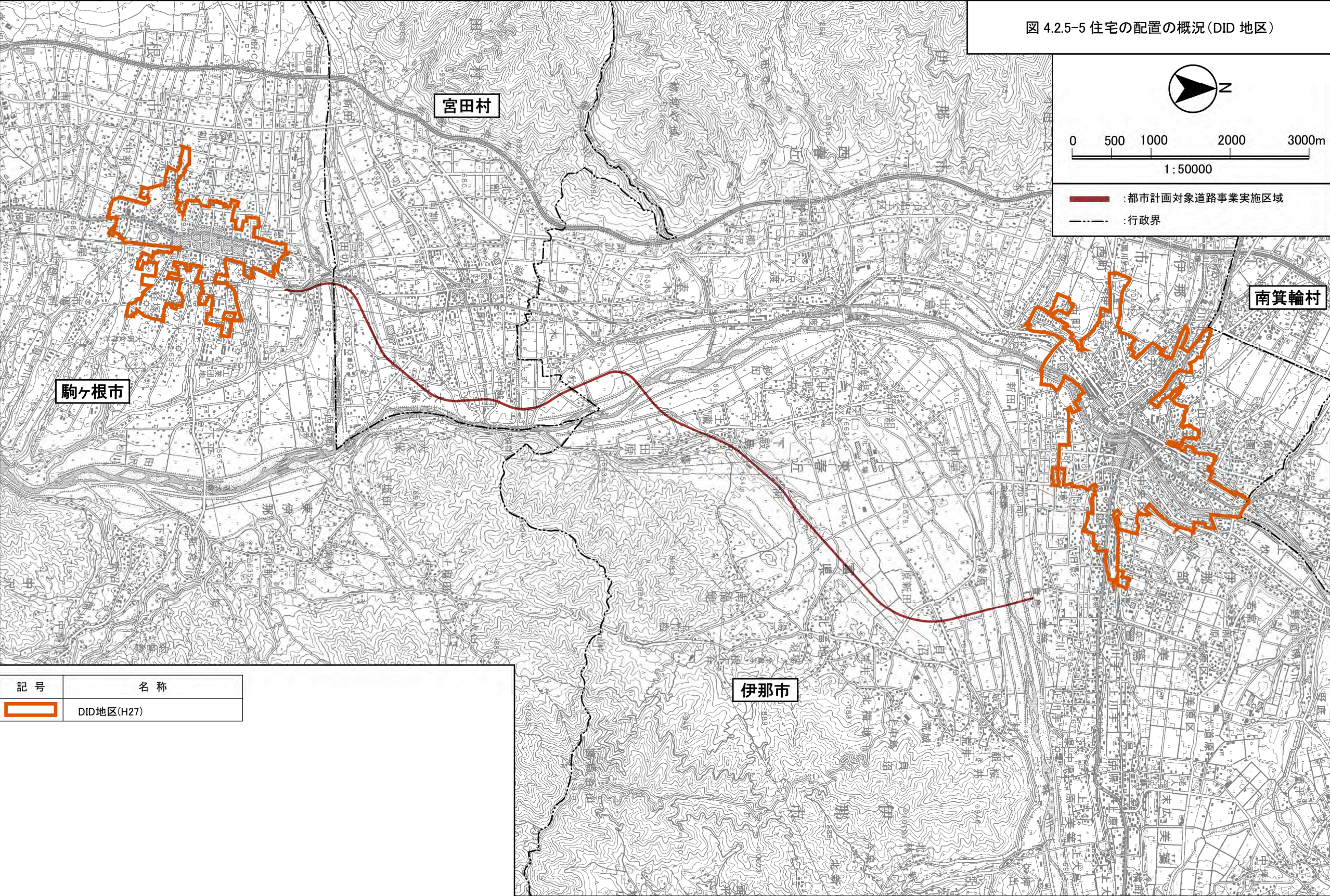


2) 住宅の配置の概況

調査区域には、人口集中地区である DID 地区が、駒ヶ根市と伊那市にそれぞれ 1 箇所存在する。DID 地区を図 4.2.5-5 (P4-144) に示す。



出典:政府統計の総合窓口(e-Stat)(平成29年3月24日 総務省統計局)

4.2.6 下水道の整備の状況

平成 28 年度末現在の汚水処理人口の普及率は、駒ヶ根市が 94.9%、宮田村が 100.0%、伊那市が 93.9%であり、調査対象地域では約 9.4 割の普及率になる。長野県全体の普及率 97.6%に対して、宮田村が高い普及率であるのに対して、駒ヶ根市及び伊那市は低い普及率である。調査対象地域における下水道等による汚水処理状況を表 4.2.6-1 に、調査区域における下水道の整備状況を図 4.2.6-1（P4-146）に示す。

表 4.2.6-1 下水道等による汚水処理状況(平成 28 年度末現在)

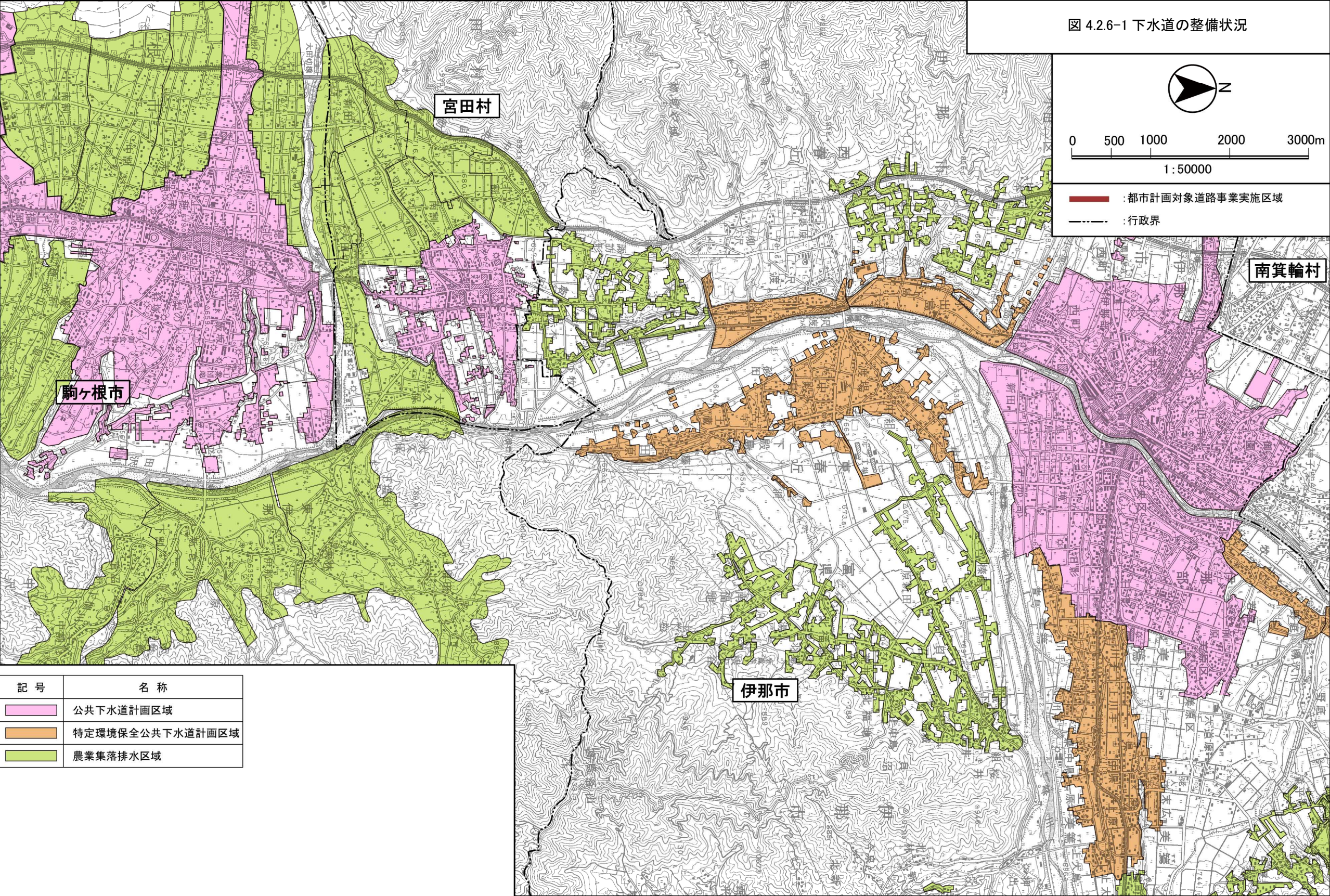
市村名	行政人口 (千人)	処理人口 (千人)				普及率 (%)
		公共下水道	農業集落 排水施設 等	浄化槽・コ ミプラ※	合計	
長野県	2,117.9	1,761.8	185.3	108.7	2,055.8	97.6
駒ヶ根市	33.1	19.3	11.3	0.7	31.3	94.9
宮田村	9.1	6.7	2.3	0.1	9.1	100.0
伊那市	68.8	48.9	11.4	3.4	63.7	93.9
3 市村合計	111.0	74.9	25.0	4.2	104.1	93.8

※：浄化槽は「合併処理浄化槽」、コミプラは「コミュニティ・プラント」である。

注 1：行政人口は、平成 29 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注 2：四捨五入した数値であるため、合計等が合わないことがある。

出典：「NAGANO「生活排水データ集」2017」（平成 29 年度 長野県環境部生活排水課）



出典:「駒ヶ根市 下水道マスタープラン」(平成22年10月 駒ヶ根市まちづくり推進部水道課)
「宮田村 生活排水エリアマップ2010」(平成24年3月 宮田村建設課)
「伊那市 公共下水事業計画一般図」(平成24年度 伊那市水道部)